

## エッセイブログの目次

### 2012,2013 年度項目別目次 エッセイブログ、2013 年度 : No. 48-57、2012 年度 : No. 1-47

エッセイブログ、2013 年度、No. 48-57、2012 年度、No. 1-47

社会、行政、自然、環境・地域、街づくり、文化、学術、教育、専門家、  
生活、福祉、人間、若者、子ども、コミュニケーション、思考、ほか

#### ◆ 1. 社会

12. 03. 28 技術革新に対して建築のリーダーシップは如何に

12. 03. 13 一般人が持つ職業人のイメージについて(TV ドラマで描かれる主人公の職業を考える)

#### ◆ 2. 行政

14. 01. 19 地方自治体は事実には真摯に向き合い行動して欲しい、文化行政を例に、50

#### ◆ 3. 自然

12. 03. 17 立山について

12. 03. 16 風景のスケッチ

12. 03. 14 なぜ山に登るのか、ふと考えてみた

#### ◆ 4. 環境、地域

12. 06. 22 豊かで快適な環境の保全と創造について——市民側からの協働を目指して 12. 06. 22

12. 05. 28 すてきな富山

#### ◆ 5. 街づくり

12. 11. 07 地域防災、日常視点からの教育と建築

12. 06. 19 まちなみ保存・活用の活動の公的化

12. 05. 29 街づくりを日常生活の点から考える

12. 03. 25 いわゆる街の活性化とは何をいうのか、我ら生活の視点

12. 03. 23 景観について一言 11

#### ◆ 6. 文化

14. 03. 20 山村における古民家への思いとその意味、51

13. 07. 20 山村の古民家にて親子の方々が ありのままを ありのままに楽しんでいますが、49

13. 07. 18 山村における古民家の今日的意義、アニメ「おおかみこどもの雨と雪」の世界より、48

#### ◆ 文化

12. 07. 10 建築文化の継承と創生について、雑感

12. 06. 28 文化について地域の諸問題をかたる、09 年 12 月

12. 06. 11 市民視点からの文化に関する教育的議論

#### ◆ 7. 学術団体

12. 06. 25 NPO として専門家と市民を結ぶ集団の結成に向けて

12. 06. 17 日本建築学会大会、富山において開催される。富山らしい様相で 51

#### ◆ 8. 教育

13. 02. 02 学術や史実の解釈が意図的にねじ曲がること有り——富山の立山カルデラと常願寺川について

12. 12. 26 日本の専門教育について、スキルもいらいが理念を

12. 06. 13 建築教育に物申す「建築教育の将来にむけて」

12. 04. 14 学生時代からふりかえって教育今昔 30 年 25

12. 04. 27 教育世論と市民の教育観

#### ◆ 9. 専門家

12. 05. 13 教育と技術——専門家の役割

12. 04. 08 専門家の視野って狭くなりがちで楽しさや感動を失いがち

#### ◆ 10. 生活

12. 06. 14 市民視点からの文化と住まいに関する教育的議論

12. 05. 31 地方でレールウェイとともに奏でる我ら生活の様相

12. 04. 07 生活文化の育成に関する建築の役割について

#### ◆ 11. 福祉

12. 07. 26 福祉政策を実効あるものにするためには日常における意識改善から

12. 05. 21 高齢者福祉に関する建築的な視点からの一考

◆ 12. 人間

12.08.06 北陸人の気質と雪——現代技術社会だからこそ雪とともに楽しみたい北陸の情緒

12.05.27 ドラマと建築——市民の建築認識について 40

◆ 13. 若者

14.03.26 若者へのメッセージ(6)、スポーツと食、57

14.03.25 若者へのメッセージ(5)、文化と郷土、56

14.03.24 若者へのメッセージ(4)、ものづくりと、55

14.03.23 若者へのメッセージ(3)、勉学の姿勢、54

14.03.22 若者へのメッセージ(2)、専門家を目指して学ぶ、53

14.03.21 若者へのメッセージ(1)、夏休みは有意義に、52

◆ 14. 子ども

12.11.08 子どもの生活環境における教育と建築

12.07.07 子育て支援と少子化対策について

◆ 15. コミュニケーション

12.06.10 コミュニケーション—論考, 交流による活力醸成について

12.03.30 上達の極意とは！！ 人との出会い

12.03.15 食してコミュニケーション——居酒屋談議はアットホーム

◆ 16. 思考

12.05.22 総合化と専門分化の考

12.04.19 我々にとって批評とは、特に専門家による批評の視点は大丈夫か

12.04.16 本を書いてみましょう、営みの証としてまおめる

12.04.12 未来を拓く研究と技術開発の理念的展開、分析の時代から総合化の時代に向けて何を問いただす展開すべきか

12.03.22 有名になるってどんなこと

12.03.19 古代ロマンが今なぜブームなのか、富山において

◆ 17. ほか

12.03.31 酒と私、その出会いからはじめます 17

12.03.12 エッセイのブログをはじめました